

ふなのみやこふん
24. 船之宮古墳

■ 指定日

昭和36年8月23日

■ 種別

兵庫県指定史跡

■ 年代

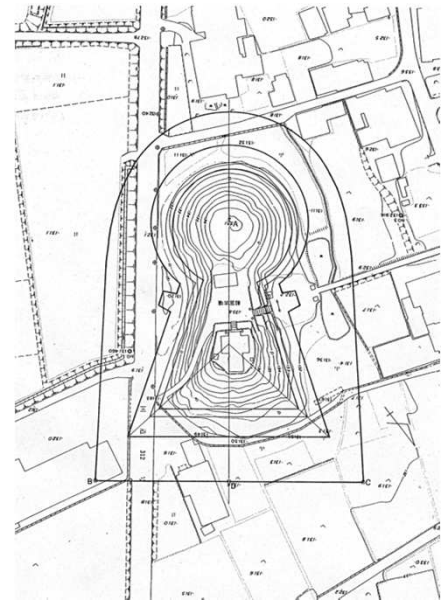
古墳時代中期

■ 所在地

朝来市桑市

■ 所有者

桑市区



墳丘復元図



出土した牛形埴輪

■ 内容

円山川左岸の段丘上に造られた全長91m(後円部径49m・前方部径36m)墳丘の高さ7.5mを測る但馬第2の大型前方後円墳である。三段築成で造出・葺石・埴輪・盾形周濠をそなえる点では、典型的な畿内型の古墳である。埋葬施設の詳細は不明。周濠の一部は県道の地下に眠っている。

出土埴輪には円筒形・蓋形・盾持ち人・動物形のものがある。動物形には牛を模したものがある。この牛形埴輪は鼻先のみの小片だが、鼻輪を装着しており、当時の牛と人の関わりを示す貴重な資料である。なお、被葬者については、大和朝廷と関わりのある国造級の豪族(船穂足尼)であるとの伝承がある。